

2022年度 中国語学科 夏期海外研修レポート

提出者：加納綾夏

所属：中国語学科 2年次

今回の海外研修は、新型コロナの影響でオンライン形式となってしまったものの、北京外国語大学に所属する教授や大学院生の講義やグループトーク、さらに日本企業の海外支社で働く方々と交流することで、主に2つの部分で成長できたと思います。

一つは、中国語ネイティブスピーカーの話す速度について行けるようになりました。主に今回の集団授業を担当した先生は、スピードに慣れていない我々のために非常にゆっくり話してくださいのため、聞き取りやすく全体の意味も理解しやすかったです。一方で、小グループの授業を担当した大学院生の先生は、話す速度が非常に早く、最初は理解に苦労しました。しかし、細かい意味を解説したり、発音を訂正してくださったおかげで、リスニング力だけで無く発音も良くなりました。

もう一つは、文化理解がより深まりました。2日に1度、大学院生の先生から伝統や文化の講義があり、その中で中国の伝統建築や漢服などについて学習しました。建築様式や服は日本との違いが大きく、多くの点で感動しました。また微信で食事の写真を送りあい、中国の食事と日本の食事の形式の違いに着目しました。

中国の食事は家族揃って食卓を囲んで食べるイメージが合いましたが、担当の大学院生はラーメンや火鍋、泡面などの一人用の食事の写真を送ってきていました。見た面は辛そうでしたが中国に行ったら食べてみたいと感じました。

最後に、この経験を活かして中国語関連の検定を受けつつ、SNS等を通じて文化を学習し、後悔しないように努力していきたいと思います。